

令和4年3月10日

データ利活用人材育成プログラム「令和3年度まちのデータ研究室」成果発表会

香川大学は、情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ、スマートシティたかまつ推進協議会との共同主催で、都市OS「FIWARE」およびノーコード・ローコード開発ツールを利用したデータ利活用人材育成プログラム「まちのデータ研究室」を運営して参りました。この度、「まちのデータ研究室」の成果発表会を開催いたします。

報道機関におかれましては、成果発表会にお越しいたごき、本プログラムを通じて研究員（地域住民）がデザインした地域のUX（※）を高めるアプリを取材いただきたく、お願い申し上げます。

※ UX：システムやサービス、ある製品などを利用／消費した時に得られる体験の総体のこと。個別の機能や使いやすさのみならず、ユーザが真にやりたいことを楽しく、心地よく実現できるかどうかを重視した概念

記

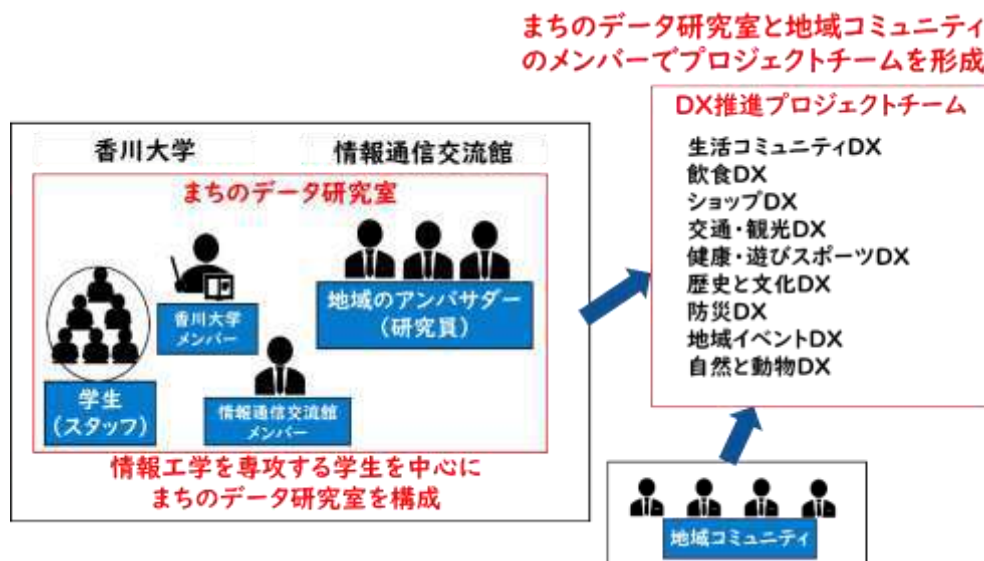
日時と場所 令和4年3月12日（土）13：30～15：00
 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ BB スクエア
 （香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟 5階）

講師／アシスタント

香川大学創造工学部 創造工学科・講師 米谷雄介（専門：ナレッジマネジメントシステム開発）
 香川大学創造工学部 3年生・4年生、大学院工学研究科 大学院生

まちのデータ研究室とは

地域の情報資源（地域情報）の発掘と、地域情報を利活用したアプリ開発を通じて、データの入力・蓄積・加工・可視化・意思決定に至る、一連のデータ活用プロセスを学習する教育プログラムです。大学教職員・民間企業に加え学生も参加するプロジェクトチームを形成し、地域DXを推進しています。

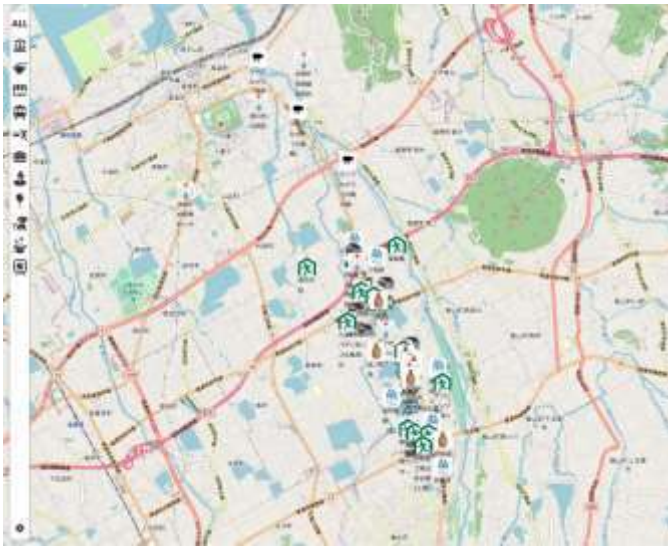


令和3年度まちのデータ研究室の詳細

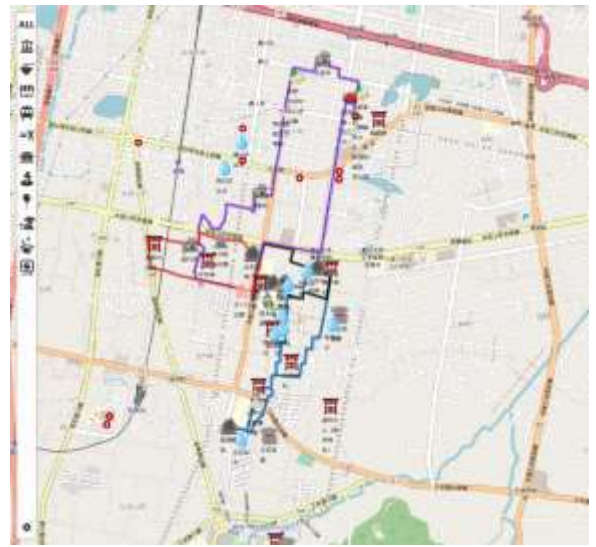
→ https://www.e-topia-kagawa.jp/lecture/machino_data_kenkyushitsu_r3/

■ 研究員が設計・開発した地域情報マップをライトニングトークおよび作品展示会で紹介します。

本アプリの開発には、地域情報をジャンル分けし、地図上にジャンル分けした情報を表示する機能をもつ、ノーコード・ローコード地図アプリ開発ツール「まちのデータ地図ちーず※2」を活用しています。



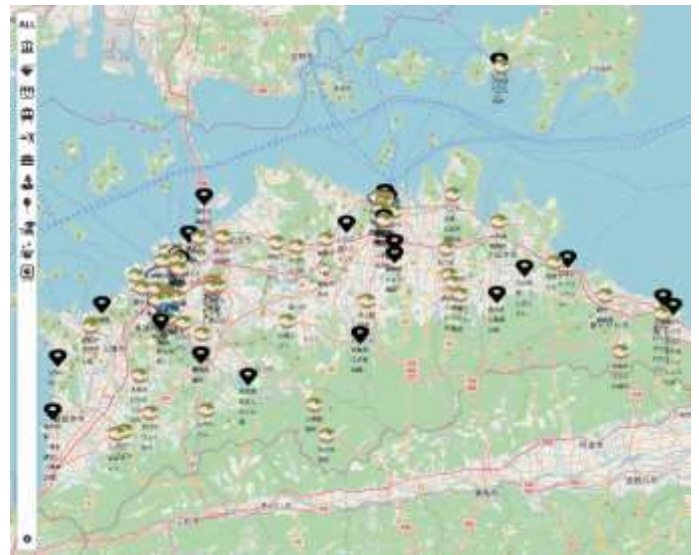
「川西町防災マップ」



「たっぴーウォーキングマップ」

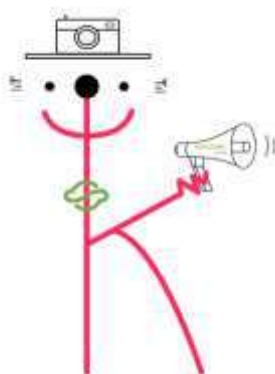


「直島町営バス」



「うどん県巡り」

※2：まちのデータ地図ちーず©2019 mAzuchi, アトリエのあ



- 内容に関するお問い合わせ先
香川大学 創造工学部 講師 米谷雄介
TEL：080-3438-5749
E-mail：kometani.yusuke@kagawa-u.ac.jp
※上記不在の場合
香川大学林町地区統合事務センター総務課庶務係
TEL：087-864-2000
FAX：087-864-2032
E-mail：shomu-t@kagawa-u.ac.jp



こめたん©2022 mAzuchi



地域運営をデジタル化し、地域の魅力を向上させよう

パソコンやスマートフォンを利用して地域運営をデジタル化し、地域運営者（地域コミュニティセンター、NPO、各種協会、基礎自治体など）や利用者（市民、観光客など）を含めた地域のステークホルダー全員の地域での体験を向上させながら、魅力ある地域を実現するための手法を学びます。具体的な地域運営改善テーマとして

- (1) 地域の隠れた魅力を可視化する未指定文化財管理アプリ
- (2) 様々なヒト・モノ・コトの位置情報を地図上に可視化することによる地域運営効率化アプリ
- (3) 平時／災害時の共助促進のための地域資源共有アプリ

を制作し、地域住民に共有することでアプリの機能を検証し、地域の運営にとって本当に必要なアプリは何かを探究してもらいます。

あなたの地域課題解決アイデアを形にし、地域の改善に貢献してみませんか？

スケジュール

※詳細スケジュールおよびカリキュラムは裏面をご覧ください。

- 2月19日(土) <第1回> パソコンやスマートフォンを使ったアプリ開発に必要な基本的なデータの作り方を学びます。終了後、地域でのアプリ実践を通じてデータを充実させるフィールドワークを行っていただきます。
- 3月12日(土) <第2回> それぞれの研究成果を研究室全体で共有してもらいます。
- 時間 13時30分～16時30分 (3時間) ※両日とも ※途中休憩あり

講師／アシスタント

香川大学創造工学部 創造工学科・講師 米谷雄介
(専門：ナレッジマネジメントシステム開発)

香川大学創造工学部 上回生、大学院工学研究科 大学院生

対象・定員

- 対象 | 高校生以上 ※18才以下は保護者の同意が必要です。
定員 | 30名 ※先着順受付

受講料

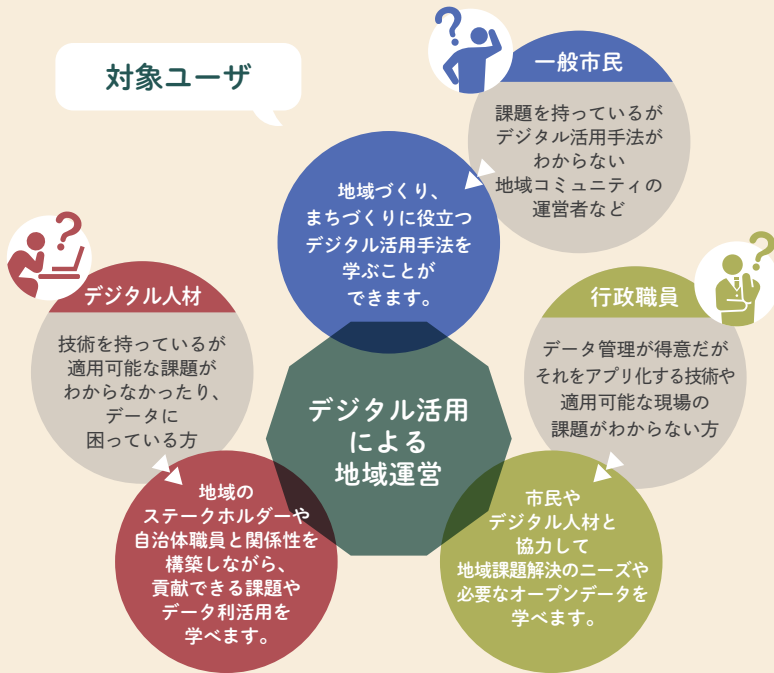
無料

新型コロナウイルス感染症対策

本イベントは会場の定員数を減らしソーシャルディスタンスに配慮して開催いたします。参加者の皆さんには検温、マスク着用、手指消毒のご協力をお願いいたします。

申込方法や詳細は裏面へ

対象ユーザ



参加条件

- データやアプリを作って地域運営を効率化したい方、地域住民にとって魅力ある地域を作ることに興味、関心のある方で、全日程参加できる方
- 普段からパソコン、スマートフォンを学習や業務等で利用している方（アプリ開発のスキルは不要です）
- Wi-Fi にてインターネットに接続可能なノート PC を持参できる方（※OS、Version は問いません）
- 必須条件ではありませんが、地域貢献に関心があり、地域での活躍の場を探されている IT（情報技術）に詳しい方のご参加を歓迎
- 成果物の取り扱いについてはオープンソースとし、無償で誰もが自由に改良・再配布をできるようにします。

申込方法

情報通信交流館（e-とびあ・かがわ）のホームページよりお申込みください。HPIはコチラ▶

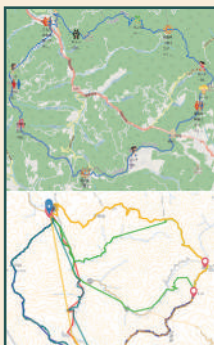


申込締切 2月13日（日）

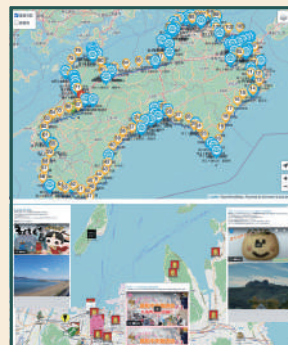
開講スケジュール/カリキュラム

#	開講日	トピック	活動内容
1	2/19（土）	パソコンやスマートフォンを使って地域運営をデジタル化しよう	地域運営（まちづくり）に資する地域運営アプリを実際に作ります。 1. 文化継承／観光促進のための未指定文化財管理アプリ開発 2. 地域交通／観光促進のための位置情報アプリ開発開発 3. 平時／災害時の共助促進のための地域資源／リスク情報共有アプリ開発
	2/20（日）～3/11（金）	地域でのフィールドワーク	プロトタイプを検証し、さらにデータを充実させるフィールドワークをおこなってもらいます。未指定文化財管理アプリ／位置情報アプリ／共助促進情報アプリを地域で共有しフィードバックを得ながら、データを充実させていきましょう。フィールドワークにおいては、アプリ稼働に必要なサーバ機能、位置情報アプリ稼働に必要なモバイル通信端末を研究室にて貸与します。また、遠隔コミュニケーションツールを提供し、アプリ改善におけるトラブル解決や質問には、講師／アシスタントが対応します。
2	3/12（土）	研究成果発表会	・プロトタイプの検証結果を展示します。 ・香川県のオープンデータ活用方策について意見交換します。

● まちのデータ研究室のテーマとして取り上げるデータ利活用アプリケーション



地域交通／観光促進のための公共交通／人流可視化アプリ



文化継承／観光促進のための地域活動／文化財共有アプリ



平時／災害時の共助促進のための地域資源／リスク情報共有アプリ